

# 特別支援教育だより

三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園 教育支援部 発行  
令和2年度 第1号（6月1日）

新年度を迎えたにもかかわらず、再びの休校措置のため子どもたちと過ごす時間がなく、実態把握もままならない中で季節はまもなく夏を迎えようとしています。世界中を脅かしている感染症の影響は甚大で、学校や保育の現場はもとより医療や企業活動等においても多くの混乱がみられました。誰もが経験したことのない日常を余儀なくされてきましたが、自粛の甲斐あってか、見通しを持ちにくかった日々も、少しずつよい方向へと向かっていると感じています。休校期間中の学びの補償のために様々な工夫を凝らして尽力されてこられたことと思います。いよいよ再開する運びとなりますが、感染症予防のための配慮と並行して、子どもたちの日常生活を少しでも充実したものとなるよう、我々教育支援部も一緒に頑張っていきたいと思っております。

## 学校見学会、公開体験授業（1学期）の中止について

さて、すでに本校ホームページにおいてはお知らせしておりましたが、今年度6月18日に予定しておりました学校見学会、および1学期中の公開体験授業（小学部6月10日、中学部6月15日）、7月2日に予定しておりました福祉事業所対象学校見学会は感染症予防対策のためにいずれも中止させていただくこととなりました。（なお、2学期中の小中学部の公開体験授業は現時点では開催を予定）しかしながら、次年度につばさ学園への就学および進学をお考えになられている方におかれましては、就学先決定に関わる参考となる機会が必要かと思われまますので、その場合は個別に対応させていただきたいと考えております。先日お届けしました本校の教育支援事業案内に記載された各連絡先までご相談ください。教育相談や学校見学、体験授業の設定など、お気軽にお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

最後になりますが、今の状況の中で子どもたちは不安やとまどいを少なからず感じています。支援を必要とする子どもたちだけではなく、通常学級の子どもたちの中にも表面的には分かりにくいですが、変化に対応できずに困っている子どもがいるかもしれません。子どもたちは（大人もですが）普段構造化された中で安定した生活を送ることで心身ともに穏やかでいられるものです。学校に登校して友だちと一緒に勉強したり遊んだりする機会がなくなったこと、季節にちなんだ行事等が体験できなくなったこと、そんな当たり前の日常がなくなったことは子どもたちに大きな負荷をかけています。休校期間中の学習の遅れを取り戻すことも大切ですが、子どもたちの苦しみに素早く気づき、理解を示し、寄り添う中で、子どもたちが一日も早く苦しみから解放されるように支援を行なっていただきたいと思います。子どもたちの学校生活が笑顔あふれるものになることを期待しています。

（文責 清都）